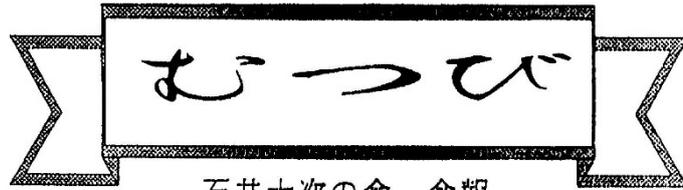


2020年
(令和2年)
1月1日



268号

石井十次の会 会報

《年頭のあいさつ》

石井十次の会

会長 橋田 和美

会員の皆様、そして関係各位の皆様、令和2年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年は令和天皇、皇后両陛下の御即位という記念すべき年でありました。またローマ教皇が38年ぶりに来日されました。全国各地で災害や事件が多発する中にも将来への希望が湧く年でもありました。今年はそれを実感できるようにしたいものです。

さて、昨年8月に恒例の石井十次セミナーが開催され、その締めくくりとして『高鍋宣言』が発表されました。現在、我が国の社会的児童養護は約20%が里親制度によるもので、80%は施設型で行われています。国(政府)はこれを欧米諸国に倣って、今後、里親制度を70%にし、施設型を30%に減らしていこうという方針を打ち出しました。今、里親制度を80%実施しているアメリカは社会的児童養護が破綻寸前だと言われています。一昨年、石井十次セミナーの講演で来日されたアメリカの児童養護の専門家が、石井記念友愛社の施設を視察されました。そこで子ども達の成長の姿を見聞きされたとき、日本の集団的児童養護の素晴らしさを、感動とともに絶賛されました。このことは、石井十次の精神を受け継いだ友愛社の児童養護方式が、いかに素晴らしい成果を発揮しているかを物語っています。我が国では現在、核家族化が進み、共働きが多い中で里親制度が普及するとは考えられません。子どもの貧困が問われる現代にあって、このまま国の方針が推進されれば、精神的孤児たちの行き場がなくなり、一番困難を被るのは子ども達です。国はもっと現場の状況を把握して、どうすることが子ども達の幸せに繋がるか、を真剣に考えてほしいと思います。将来の日本を担う子ども達の教育や福祉に予算を削減してはならないのです。

石井十次は「福祉」という言葉のない時代、児童福祉への挑戦にその一身を捧げました。自らも生死の境を彷徨いながら、孤児がいれば無制限に救済し、いかなる困難にも決して諦めませんでした。強い信念で児童福祉に取り組みました。それは、使命感と人類愛の賜物だと思います。

我々「石井十次の会」は、国の方針を再考していただくように、児童養護施設関係者と一緒になって署名活動を展開しております。私は昨年12月4日に宮崎県婦人大会（参加者約500名）で、これまでの石井十次の功績や現在、事業活動を行っている石井記念友愛社や子ども達の成長の姿について講演をする機会をいただきました。その成果と反響は大きかったのではないかと思います。また、会場の西都市民会館のロビーでは石井十次の会の皆様が『子どもの未来を守るため』の署名活動や十次茶の販売を精力的に取り組んでいただきました。その結果、相当数の署名と十次茶の販売が達成できました。このように全国各地で会員の皆様が頑張っておられます。これからもその活動を継続してまいります。どうか会員の皆様、さらにこの活動の輪を拡げていただくようお願い申し上げます。

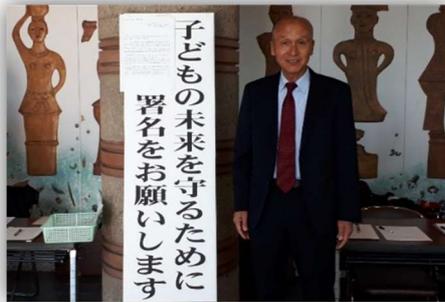
末筆になりましたが、これから本格的な寒さが訪れます。皆さまにはどうかご自愛下さいまして、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

感謝祭



令和元年 11月23日

収穫感謝祭



12月4日
宮崎県婦人
大会にて



12月1日
グランドゴルフ交流会



10月7～8日
会員研修（鹿児島黎明館前）

柿原政一郎の業績

日本福祉事業の先駆者石井十次、倉敷紡績社長で大原美術館創設者の大原孫三郎に師事され、忘れてはならない人が居られる。

十次は、政一郎にとって母の従兄弟にあたり、叔父・甥の関係である。

社会事業家・産業家・政治家等で明治・大正・昭和時代に郷土愛に生涯を捧げられた柿原政一郎その人である。

年譜を見ますと、1983年（明治16年）4月13日 父政一・母キミの1子として、宮崎県高鍋町道具小路で出生。柿原家の先祖は、旧藩時代の高鍋藩の家臣で要職に就かれて居られた。

1901年（明治34年—18歳）

岡山孤児院開設中の十次を頼って岡山市の第6高等学校に進学。岡山孤児院に住込み、孤児達に対処。映写機を持って全国で開いた音楽幻灯会に協力。十次によって社会事業へ参画する事になった。

1904年（明治37年—21歳） 東京帝国大学哲学科入学（現、東京大学）入学するも病気で中退。

1907年（明治40年—24歳）

大原孫三郎と親交のある十次の紹介で倉敷紡績KK入社。
孫三郎の秘書

1909年（明治42年—26歳）

十次の大阪社会総合大阪事業開設業務に参画。

1911年（明治44年—28歳）

岡山孤児院の評議員。

1914年（大正3年—31歳）石井十次満48歳、友愛園静養館でご逝去。後に孫三郎が院長を引受けた。十次と孫三郎は、同心同体の間柄だったので、政一郎は十次・孫三郎の秘書も兼ねる時が多かった。1918年（大正7年—35歳） 大阪市の極端な貧民街を調査していた十次の亡くなった後に孫三郎の意を受けて大阪市に石井記念愛染園を設立・評議員。1919年高鍋製糸kk社長。1920年（大正9年—37歳）宮崎県選出の国会議員。広島臨港土地kk創立。中国民放社長。1926年岡山孤児院解散清算人となる。

以後、柿原茶舗（現高島産業）九州輸出製茶kk社長。養鶏組合長。戦後まもなく石井記念友愛社評議員、孤児達の救済に携わる。小丸川発電所建設。無水アルコール工場（現宝酒造）、官営鉄興社（現南九州化学）の誘致。宮崎市長、県会議員、高鍋町長、高鍋町立図書館開設・寄付。県文化賞、社会教育功労賞、名誉町民。1962年満78歳で逝去。高鍋町葬。先祖の眠る墓地に埋葬されている。

なお、紙面の都合により他の事業等は割愛しています。ご了承ください。

参考文献 柿原政一郎翁顕彰会編 他

編集委員 生駒



【高鍋町立図書館前に建立された柿原翁】

《 お し ら せ 》

★新会員のご紹介（敬称略）

- 【西都市】 巽 理絵・神田 基子
【宮崎市】 黒田 奈々・黒木 憲夫
横田 啓子
【門川町】 米良 正秋
【高原町】 西村 四男・濱野 尋子
【小林市】 田原 治男
【八尾市】（大阪府）山井 修治

★ご寄付をいただきました（敬称略）

- 【西都市】 阿萬 富子
【宮崎市】 宮交シティカルチャーセンター

★1 1/2 4～1 2/2 2の資料館来館者

- 【西都市】 ボーイスカウト西都第1団 10人
【門川町】 高齢者クラブ連合会 21人
【日南市】 酒谷公民館長 11人
【高原町】 石井十字の会 11人
団体・グループ 53人
個人 17人 合計 70人

ここまでの掲載者は編集委員会開催の都合により12月22日までのものとしています。

★石井十字の会 宮崎支部 講演会

- 日時 令和2年2月1日(土)10:00～11:30
場所 石井記念こひつじ保育園
演題 「男だから」「女だから」は誰のため
講師 NPO 法人ドロップインセンター
副理事長 黒田 奈々氏
(NHK みやざき 気象キャスター)

* ふるってご参加ください *

★2月号の通信発送作業

- 2月11日(火) 9時から印刷・製本
12日(水) 9時から製本・発送

○ 編集委員の切なる願い

「むつび」4頁分の内容に関する企画・依頼・取材・校正・発行等が編集委員の主たる役割です。

基本的には次のような区分けをして原稿の依頼をしています。

- ① 1～2頁は「十次の精神」を支援・協力・理解のある有識者に
- ② 3頁は「十次の会」役員・編集委員に
- ③ 4頁は事務職員と編集委員の合作で
この原稿依頼にこそ最も精力を注ぎます。
①から②の原稿が順調に入稿され校正作業できる時は編集委員としての充実感を深く味わいます。

ときに原稿依頼がうまく調整できずに編集委員が自己責任的に執筆せざるを得ないときは塗炭の苦しみです。

皆様のご支援とご協力により編集委員会がスムーズに運営できることは編集委員としての切なる願いです。



方舟館で
編集委員会

★ 編集後記

「むつび」1～2頁は橋田会長に年頭の所感をいただきました。感謝します。

さて、高鍋宣言を受けての署名活動真っ最中です。目標数10万人に近づきたい。

会員はそれぞれで是非10人は募っていただきたいと強く考えています。

どうぞお力を貸してください。

令和の2年目が会員の皆様にとって佳年でありますように。

・・・文責 竹之下

この会報は、宮崎県を中心に全国1700余の個人・団体に毎月送付しています。

社会福祉法人 石井記念友愛社 ☎ 884-0102 宮崎県児湯郡木城町大字椎木 644-1

後援会「石井十次の会」 TEL/FAX 0983-32-4612

メール yuuaisya-jyujinokai@ki.jo.jp